

# 我が社における自主保安活動シリーズ

## (第12回)

高圧ガス保安経済産業大臣・高圧ガス保安協会会長表彰を受賞された組織（優良製造所および優良販売業者）は、長年にわたる保安啓発と自主的な保安活動への取組みを積極的に行っております。

そこで、受賞を契機に高圧ガス災害の防止など自主保安の維持向上に努めている活動等を執筆していただきました。

高圧ガスの製造所および販売事業所で保安に関わる方々には大いに参考になるものと期待しています。2019年1月号（Vol. 56 No. 1）から連載を開始し、12月号では、優良製造所として、理研計器株式会社 友松一誠様、優良販売業者として、松江ガス供給株式会社 曾田 悟様に自社の保安に対する考え方および今後の抱負などについてご紹介していただきました。

### 我が社における自主保安活動シリーズの掲載号

- |      |  |                |       |              |
|------|--|----------------|-------|--------------|
| 第1回  | 我が社の保安安全活動（優良製造所編）                     | (株)サイサンガステクノ   | 横山義巳  | Vol.56 No.1  |
| 第1回  | 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編）               | (株)サンワ         | 田部井普  | Vol.56 No.1  |
| 第2回  | 我が社における保安管理活動（優良製造所編）                  | 上毛天然瓦斯工業(株)    | 平石 誠  | Vol.56 No.2  |
| 第2回  | 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編）               | 紀伊国屋高圧(株)      | 若林比呂之 | Vol.56 No.2  |
| 第3回  | 保安レベルの維持向上への取組みについて（優良製造所編）            | (株)クレハ         | 小野佐市  | Vol.56 No.3  |
| 第3回  | 我が社における保安管理活動（優良販売業者編）                 | (株)須山液化ガス      | 須山光男  | Vol.56 No.3  |
| 第4回  | 我が社における保安管理活動（優良製造所編）                  | 雪印メグミルク(株)     | 田中秀和  | Vol.56 No.4  |
| 第4回  | 我が社における保安管理活動（優良販売業者編）                 | 十文字ガス(株)       | 小関史郎  | Vol.56 No.4  |
| 第5回  | 我が社における保安管理活動（優良製造所編）                  | (株)ネリキ         | 新戸裕之  | Vol.56 No.5  |
| 第5回  | 我が社における保安管理活動（優良販売業者編）                 | (株)西條プロパン      | 辻田 隆  | Vol.56 No.5  |
| 第6回  | 高圧ガス容器製造事業所における自主保安活動の取組み（優良製造所編）      | (株)関東高圧容器製作所   | 瀧澤史朗  | Vol.56 No.6  |
| 第6回  | 我が社における保安活動（優良販売業者編）                   | 昭和電工ガスプロダクツ(株) | 岡崎 徹  | Vol.56 No.6  |
| 第7回  | 我が社における災害への取組み（優良製造所編）                 | 江藤酸素(株)        | 日下明宏  | Vol.56 No.7  |
| 第7回  | 我が社における保安管理活動（優良販売業者編）                 | (株)星医療酸器       | 鈴木省悟  | Vol.56 No.7  |
| 第8回  | 我が社における自主保安活動（優良製造所編）                  | (株)加地テック       | 上田伊佐三 | Vol.56 No.8  |
| 第8回  | 我が社における保安活動（優良販売業者編）                   | (株)巴商会         | 小澤 正  | Vol.56 No.8  |
| 第9回  | 保安レベルの維持向上への取組み（優良製造所編）                | 九州エア・ウォーター(株)  | 東 成政  | Vol.56 No.9  |
| 第9回  | 我が社における自主保安活動（優良販売業者編）                 | 東海溶材(株)        | 松下勝実  | Vol.56 No.9  |
| 第10回 | 我が社における自主保安活動（優良製造所編）—保安レベルの維持向上への取組み— | 近畿酸素(株)        | 前川俊也  | Vol.56 No.10 |
| 第10回 | 我が社における自主保安活動（優良販売業者編）                 | 岩谷産業(株)        | 飯田 宏  | Vol.56 No.10 |
| 第11回 | 我が社における保安管理活動（優良製造所編）                  | サントリープロダクツ(株)  | 成田光臣  | Vol.56 No.11 |
| 第11回 | 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編）               | 富士瓦斯(株)        | 津田維一  | Vol.56 No.11 |

# 我が社における自主保安活動(優良製造所編)



理研計器株式会社 生産本部 製造部 部長

友松 一誠

## 1 会社概要

理研計器(株) (以下、「当社」) は1939年に創設され80年にわたり、産業用ガス検知警報機器の専門メーカーとして可燃性ガスによる爆発防止、作業環境における有害ガスの監視など産業防災安全の確保に取り組んできた。

当社は経営理念として「人々が安心して働ける環境づくり」を掲げている。この経営理念に基づき、各種爆発事故防止をはじめとし、排気ガス規制、CO<sub>2</sub>測定など環境保全ニーズにも幅広く対応したガスセンサを開発し、社会貢献するとともに、「安全」を供給する企業としての責務を果たすべく、機器の販売のみならず、販売後の保守・点検及びガスを検知するセンサの交換など定期的なメンテナンスにも積極的に取り組んでいる。

また経営方針として、「お客様には高品質の製品と充実したサービスを提供し、安全な環境づくりに貢献する」ことを掲げ、品質管理の向上に取り組み、「従業員には、生活の安定と労働環境の向上をもって報いる」ことを掲げ、生産工程等における作業の安全向上にも取り組んでいる。

## 2 事業所概要

当社の工場は東武野田線の八木崎駅から徒歩10分の、埼玉県春日部市の工業団地の中にある。

2015年1月に東京都板橋区小豆沢から移転し、従業員440名がガス検知器の生産・研究開発等に従事している。

## 3 表彰履歴

2016年10月28日 高圧ガス保安協会会長表彰 優良製造所

## 4 会社沿革

- 1934年 7月 家電などの製造販売を目的として、沢藤電機工業株式会社を設立
- 1938年 5月 富国機械株式会社に商号変更。精密機械の製造開始
- 1938年 11月 財団法人理化学研究所辻研究室の研究発明製品の特許実施権取得。ガス検定器などの製造開始
- 1939年 3月 現商号に変更
- 1952年 11月 理研精機光学株式会社を吸収

	合併
1961年10月	東証2部に上場
1970年1月	奈良工場（現：理研計器奈良製作所）の操業開始
1990年8月	株式会社理研計器恵山製作所を設立
1995年9月	東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
1996年10月	ISO9001の認証取得
1997年12月	ISO14001の認証取得
2008年1月	株式会社理研計器恵山製作所を吸収合併
2009年12月	理研計器商貿有限公司（中国上海市）を設立
2015年1月	生産工場を東京都板橋区の本社から埼玉県春日部市へ移転
2017年9月	本社新社屋完成
2019年5月	生産センター建設開始

## 5 保安活動

当社は、経営理念である「人々が安心して働ける環境づくり」という永久のテーマの下、安全衛生活動が企業経営の基盤であることを

認識し、社内の労働安全衛生管理を徹底するとともに、地域社会において人々の安全や健康に及ぼす影響を限りなくゼロとするよう努め、自負できる職場を目指している。

具体的な活動としては、安全衛生委員会を中心として、各種法令にあわせて化学物質、放射線関係の委員会を主体とした保安活動を展開している。特に「ヒヤリハットの報告から再発防止の展開」、「職場巡回による改善」、「産業医等の外部からのアドバイスに基づく活動」に注力している。

保安管理を維持・向上するために社員教育も重要である。毎年、外部講師を招き「特殊高圧ガス取扱保安講習」「高圧ガスボンベの取扱方法」に関して教育訓練を実施している。若手社員からシニア社員まで安全第一で作業に取り組むことを再認識できる。

自主保安活動として管理職を中心に毎月職場巡回を実施し、リスク評価を行う。職場巡回の結果は、「職場巡回結果報告書」として、是正項目の改善前と改善後の写真と是正内容を一覧表にまとめ、職場内に掲示し従業員に対して安全意識を向上させている（写真1）。

また、作業中のけがや事故を発生させない

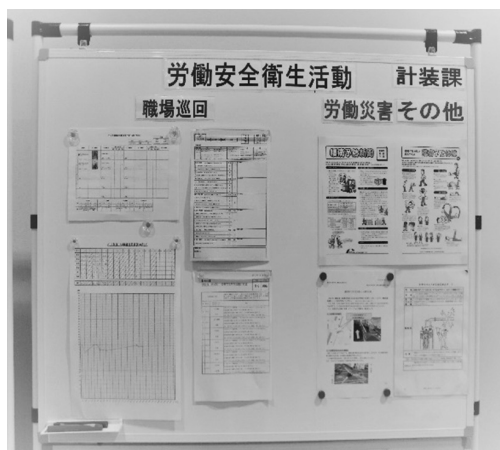


写真1 職場内掲示物



写真2 左側：開発センター（2015年1月稼働）、右側：生産センター（2020年6月完成予定）

ための職場安全・作業安全に繋がる改善提案活動にも取り組んでいる。年間100件程度の改善提案書が提出され、大きな成果を上げている。その結果、2018年は労災件数ゼロを達成できている。

## 6 おわりに（今後の展開）

当社は、2019年5月から開発センターの敷地内にガス検知器のセンサ生産拠点「生産センター」を建設している（写真2）。2020年6月に完成し、9月から稼働する予定となっている。この生産センターはBCP対策で免震構造を採用し、地上6階建て、延べ床面積は9,841㎡に及ぶ。

また新しい設備として新センサの組み立て

製造自動機や自動検査機を導入予定となっている。稼働すれば新センサの量産や開発センターと隣接することによる技術開発力の向上、製品開発の早期化などを見込んでいる。一方で設備、人員ともに大幅に増えることになる。このような変化のときこそ想定していない事故等が発生しやすいと考えている。そのため、現状の取組みを実直に継続するとともに、より安全意識を高める教育や日々の活動を強化する必要がある。

最後に、当社はガス検知器の販売を通して、「安全」をさまざまな環境に供給している会社である。そのことをしっかりと認識し、「絶対に事故を起こさない」会社を目指し、今後も活動を推進していく。

友松一誠（ともまつ かずせい）